

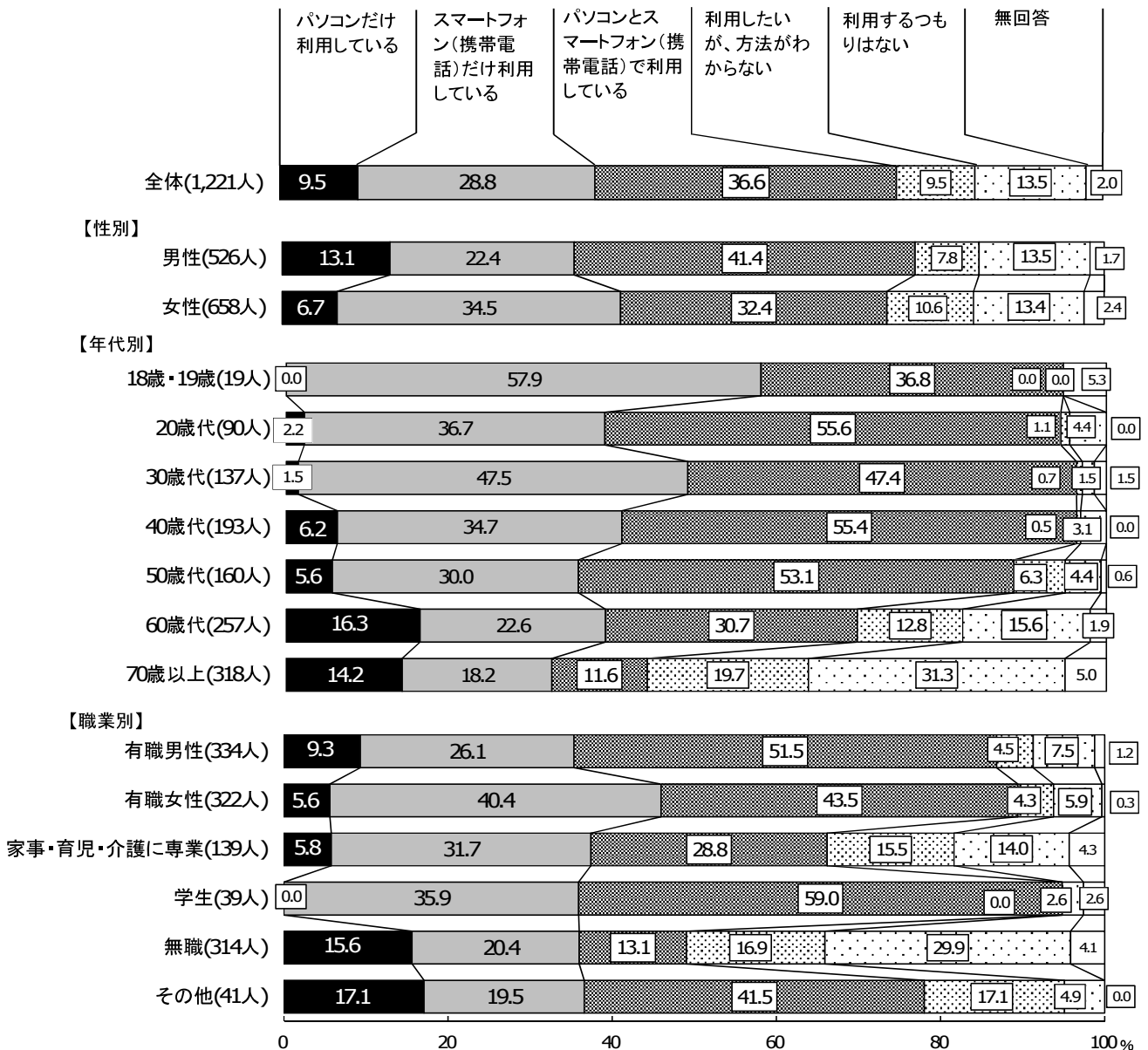
5 市民生活について

5-1 インターネットの利用状況

◆ “インターネットを利用している” 74.9%◆

問 16 あなたは、ホームページ（モバイルサイトを含む）を見たり、インターネットを利用したりしていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

インターネットの利用状況



全体でみると「パソコンとスマートフォン（携帯電話）で利用している」が 36.6%、「スマートフォン（携帯電話）だけ利用している」が 28.8%、「パソコンだけ利用している」が 9.5%で、これらを合わせた“インターネットを利用している”と回答した人は 74.9%となっています。

性別でみると「スマートフォン（携帯電話）だけ利用している」で女性（34.5%）が男性（22.4%）を 12.1 ポイント上回っています。また「パソコンだけ利用している」は男性（13.1%）が女性（6.7%）を 6.4 ポイント上回っています。“インターネットを利用している”は男性（76.9%）が女性（73.6%）を 3.3 ポイント上回っています。

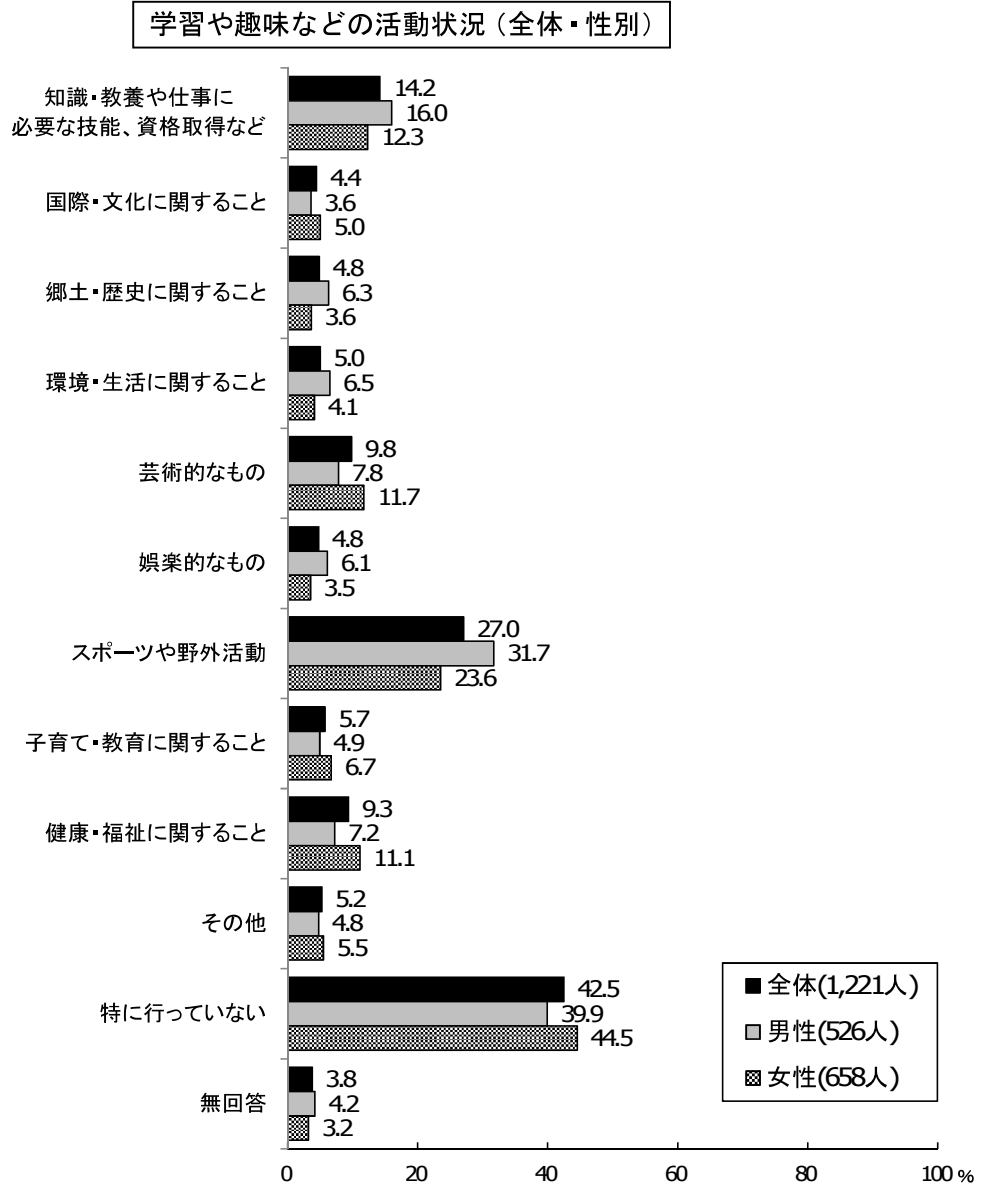
年代別でみると「パソコンとスマートフォン（携帯電話）で利用している」は 20 歳代で 55.6%、40 歳代で 55.4%、50 歳代で 53.1%と高くなっています。「スマートフォン（携帯電話）だけ利用している」は 18 歳・19 歳が最も高く 57.9%となっています。また“インターネットを利用している”と回答している割合は 18 歳・19 歳、20 歳代、30 歳代、40 歳代で 9 割台となっています。

職業別でみると“インターネットを利用している”は学生で 94.9%となっており、有職男性は 86.9%、有職女性は 89.5%となっています。

5-2 学習や趣味などの活動状況

- ◆「スポーツや野外活動」27.0%、
「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」14.2%◆

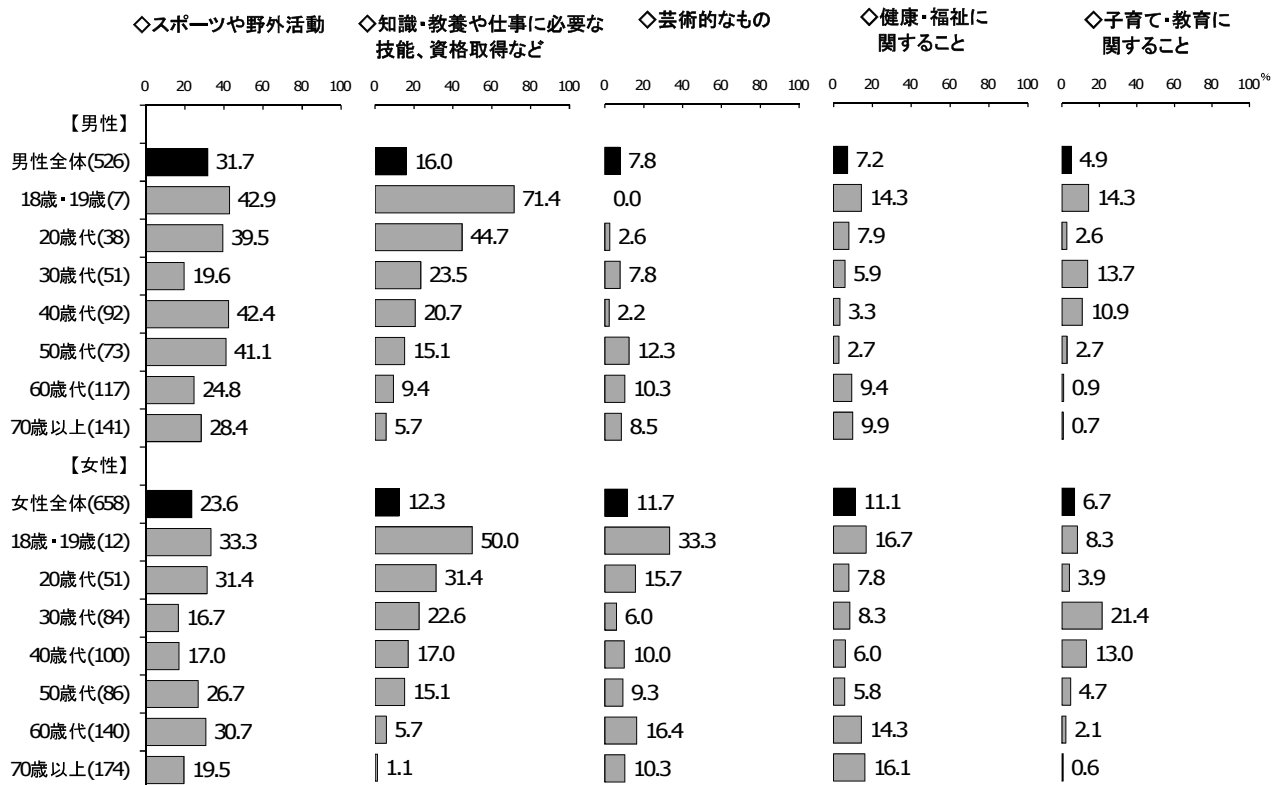
問 17 あなたは現在、学習や趣味などの活動を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。



全体では「スポーツや野外活動」(27.0%)、「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」(14.2%)、「芸術的なもの」(9.8%)、「健康・福祉に関すること」(9.3%)、「子育て・教育に関すること」(5.7%)の順となっています。また「特に行っていない」は42.5%となっています。

性別で見ると「スポーツや野外活動」で男性(31.7%)が女性(23.6%)を8.1ポイント、
「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」で男性(16.0%)が女性(12.3%)
を3.7ポイント上回っています。一方「芸術的なもの」では女性(11.7%)が男性(7.8%)
を3.9ポイント、「健康・福祉に関すること」でも女性(11.1%)が男性(7.2%)を3.9
ポイント上回っています。

学習や趣味などの活動状況(上位5項目 性・年代別)



性・年代別でみると「スポーツや野外活動」は男性の18歳・19歳、40歳代、50歳代で4割を超え、女性の18歳・19歳、20歳代、60歳代で3割を上回っています。

「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」は18歳・19歳が最も高く(男性71.4%、女性50.0%)、年齢が高くなるごとに少なくなっています。

「芸術的なもの」は女性の18歳・19歳で33.3%と最も高くなっています。

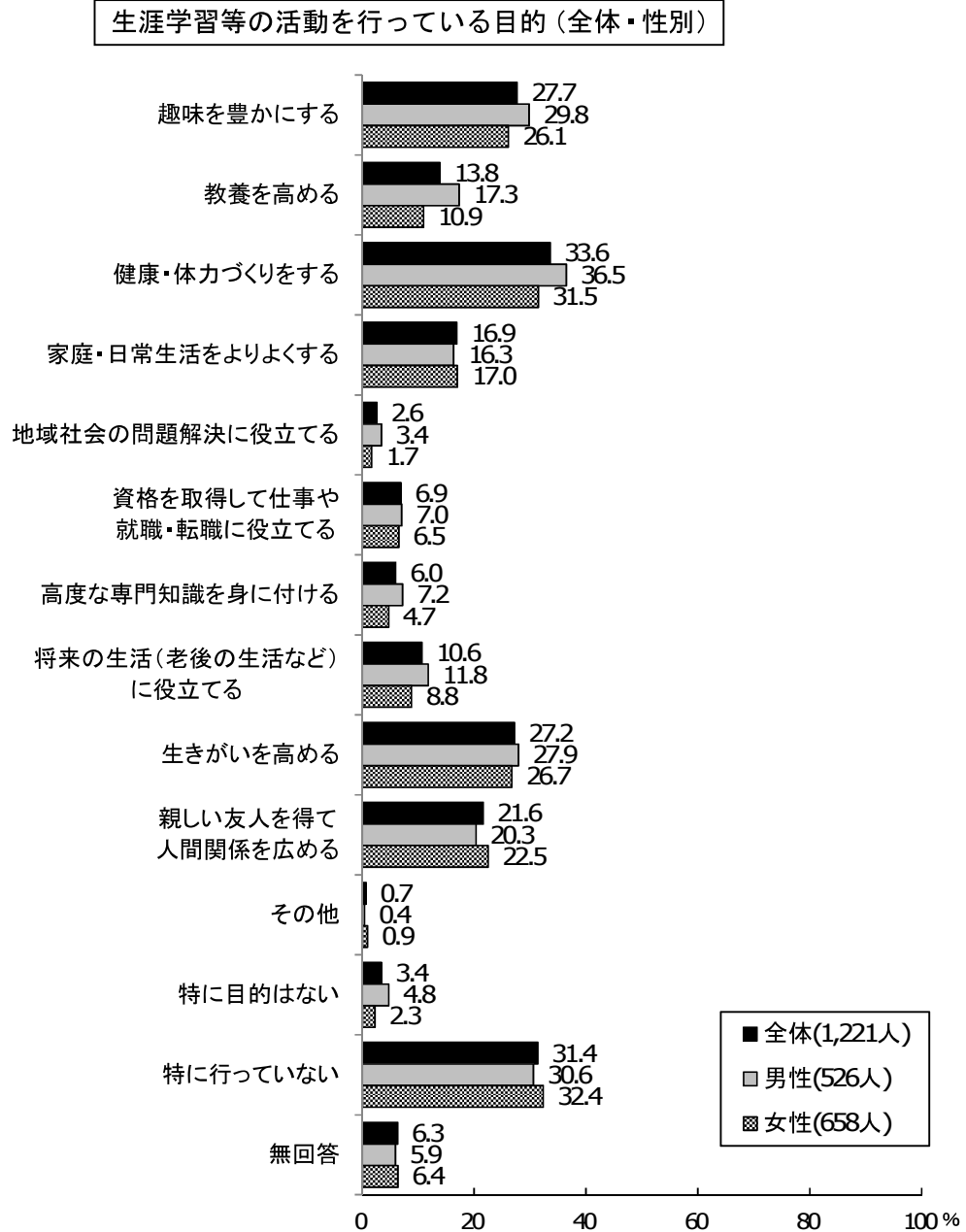
「健康・福祉に関すること」は女性の18歳・19歳で16.7%、70歳以上で16.1%とやや高くなっています。

「子育て・教育に関すること」は女性の30歳代で21.4%と高くなっています。

5-3 生涯学習等の活動を行っている目的

◆「健康・体力づくりをする」33.6%◆

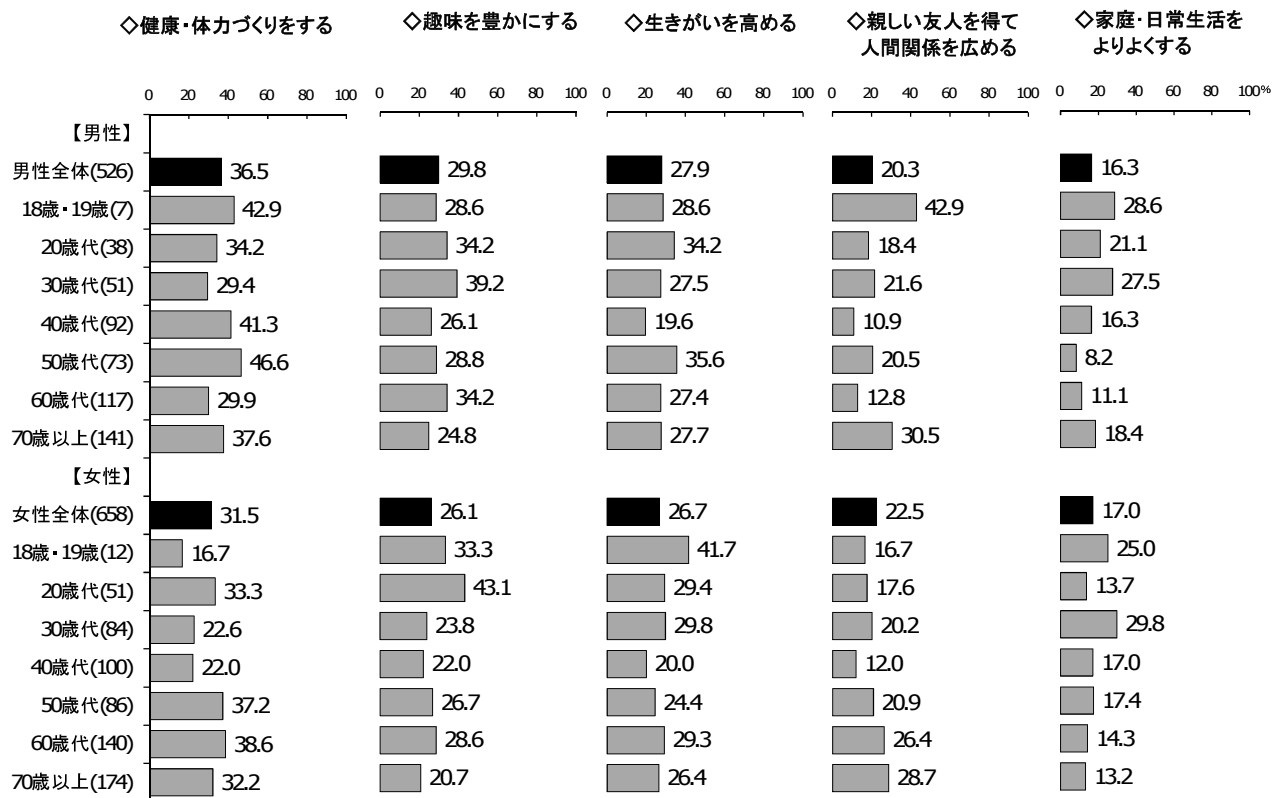
問 18 あなたは、生涯学習としての趣味や習い事の活動について、どのような目的で行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。



全体では「健康・体力づくりをする」が33.6%で最も高く、次いで「趣味を豊かにする」(27.7%)、「生きがいを高める」(27.2%)、「親しい友人を得て人間関係を広める」(21.6%)、「家庭・日常生活をよりよくする」(16.9%)が続いています。また「特に行っていない」は31.4%となっています。

性別で見ると「教養を高める」で男性(17.3%)が女性(10.9%)を6.4ポイント、「親しい友人を得て人間関係を広める」で女性(22.5%)が男性(20.3%)を2.2ポイント上回っています。

生涯学習等の活動を行っている目的(上位5項目 性・年代別)



性・年代別でみると「健康・体力づくりをする」は男性の18歳・19歳、40歳代、50歳代で4割台となっています。

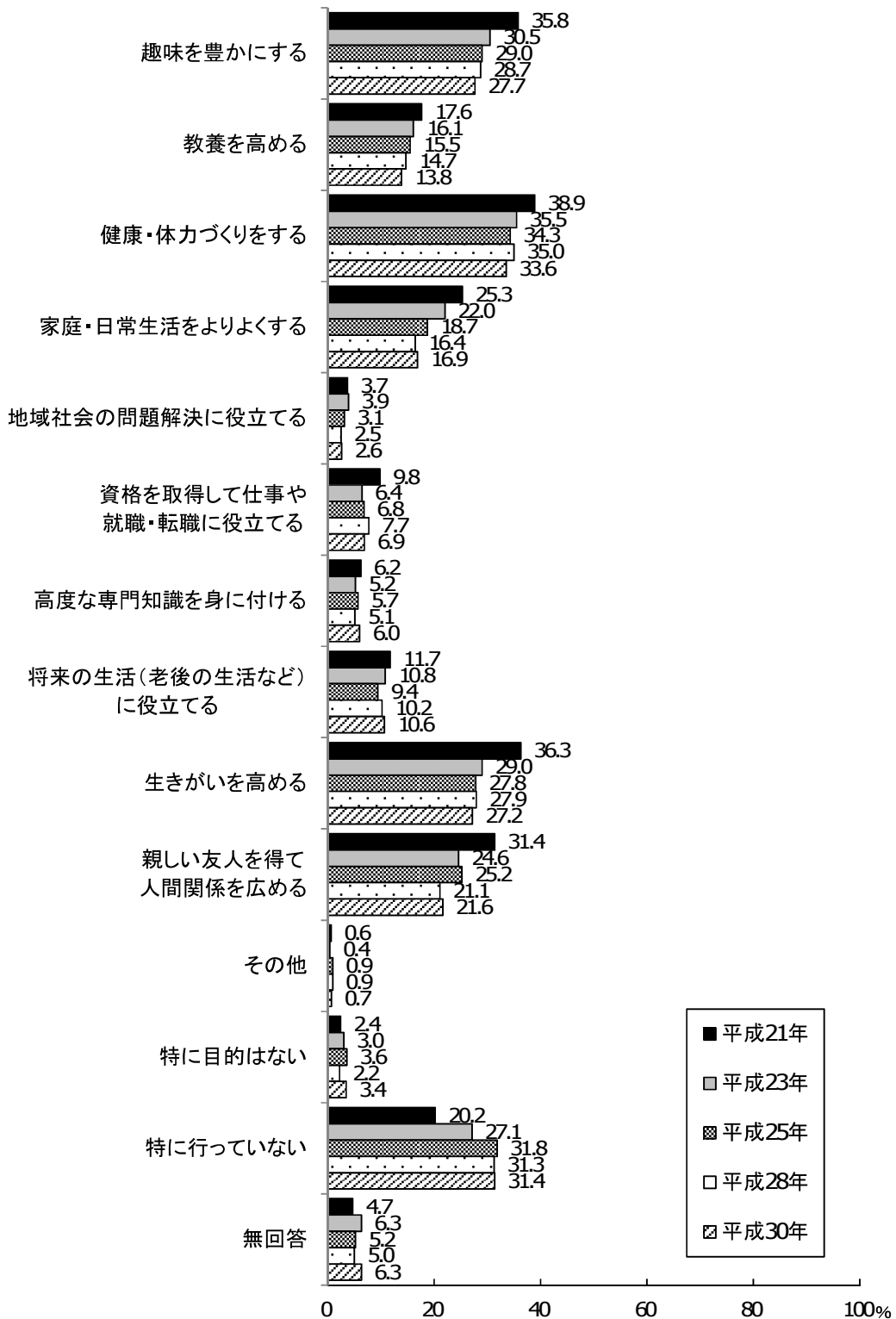
「趣味を豊かにする」は女性の20歳代で43.1%と最も高くなっています。男性の30歳代でも39.2%と約4割となっています。

「生きがいを高める」は女性の18歳・19歳で4割を超え、男性の20歳代、50歳代で3割を上回っています。

「親しい友人を得て人間関係を広める」は男性の18歳・19歳で42.9%と高くなっています。

「家庭・日常生活をよりよくする」は女性の30歳代で29.8%、男性の18歳・19歳で28.6%、30歳代で27.5%とやや高くなっています。

生涯学習等の活動を行っている目的（経年比較）

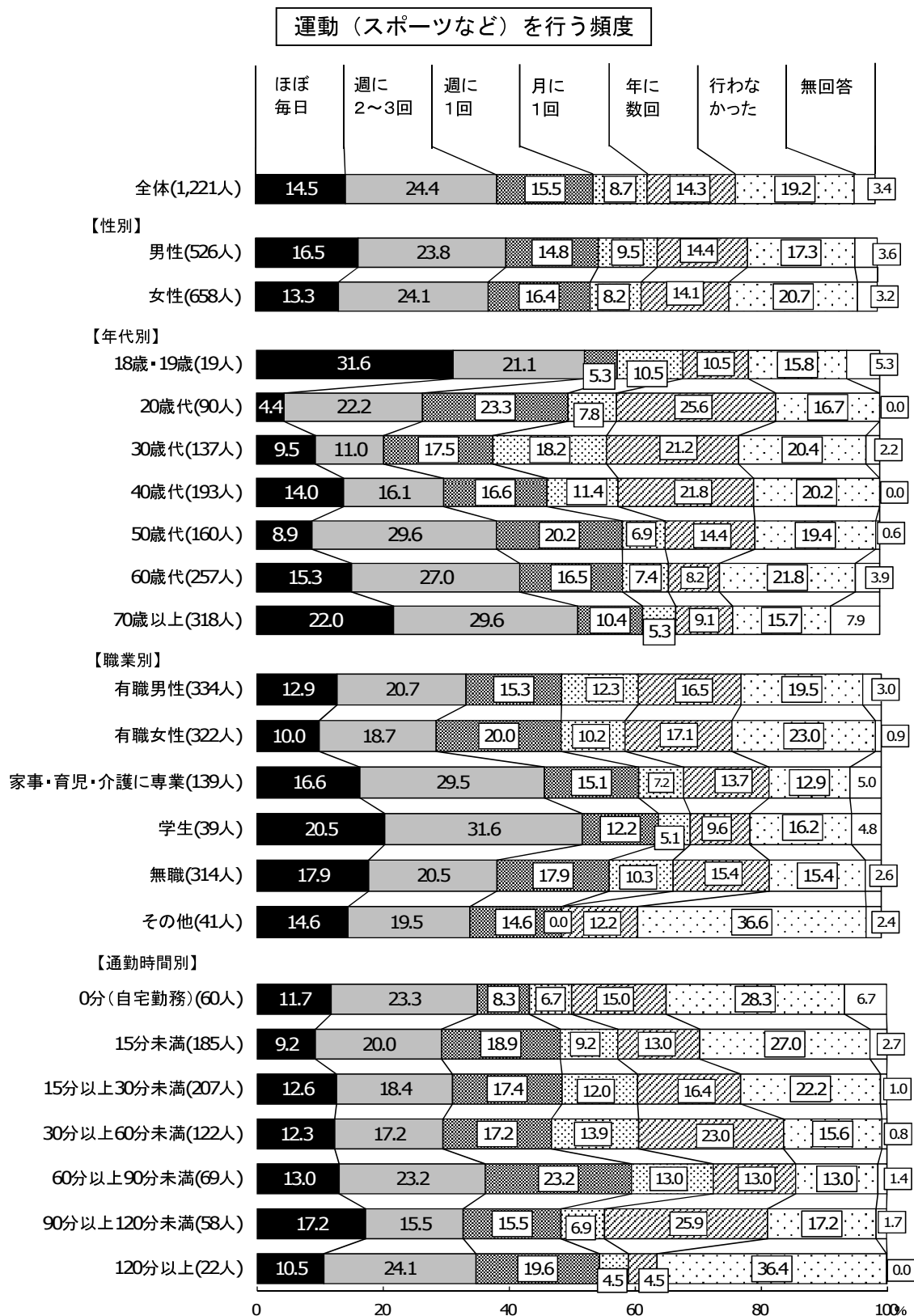


平成 21 年度以降の調査結果と比較すると、多くの項目で減少傾向となっているものの、平成 28 年度調査と比較すると、ほとんど変化はありません。

5-4 運動（スポーツなど）を行う頻度

◆ “習慣的に運動を行っている” 54.4%◆

問 19 あなたは、過去1年間に運動（スポーツ、ウォーキング、散歩、体操など）を平均してどのくらい行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体でみると「ほぼ毎日」「週に2～3回」「週に1回」を合わせた“習慣的に運動を行っている”は54.4%と高く、一方で「行わなかった」は19.2%と低く、習慣的に体を動かしている市民が多いことがわかります。

性別でみると“習慣的に運動を行っている”は男性（55.1%）が女性（53.8%）を1.3ポイント上回っていますが、ともに半数を超えています。

年代別でみると“習慣的に運動を行っている”は30歳代が38.0%と最も低く、それ以降は年齢が高くなるにしたがって割合が高くなっています。70歳以上は最も高く、62.0%となっています。

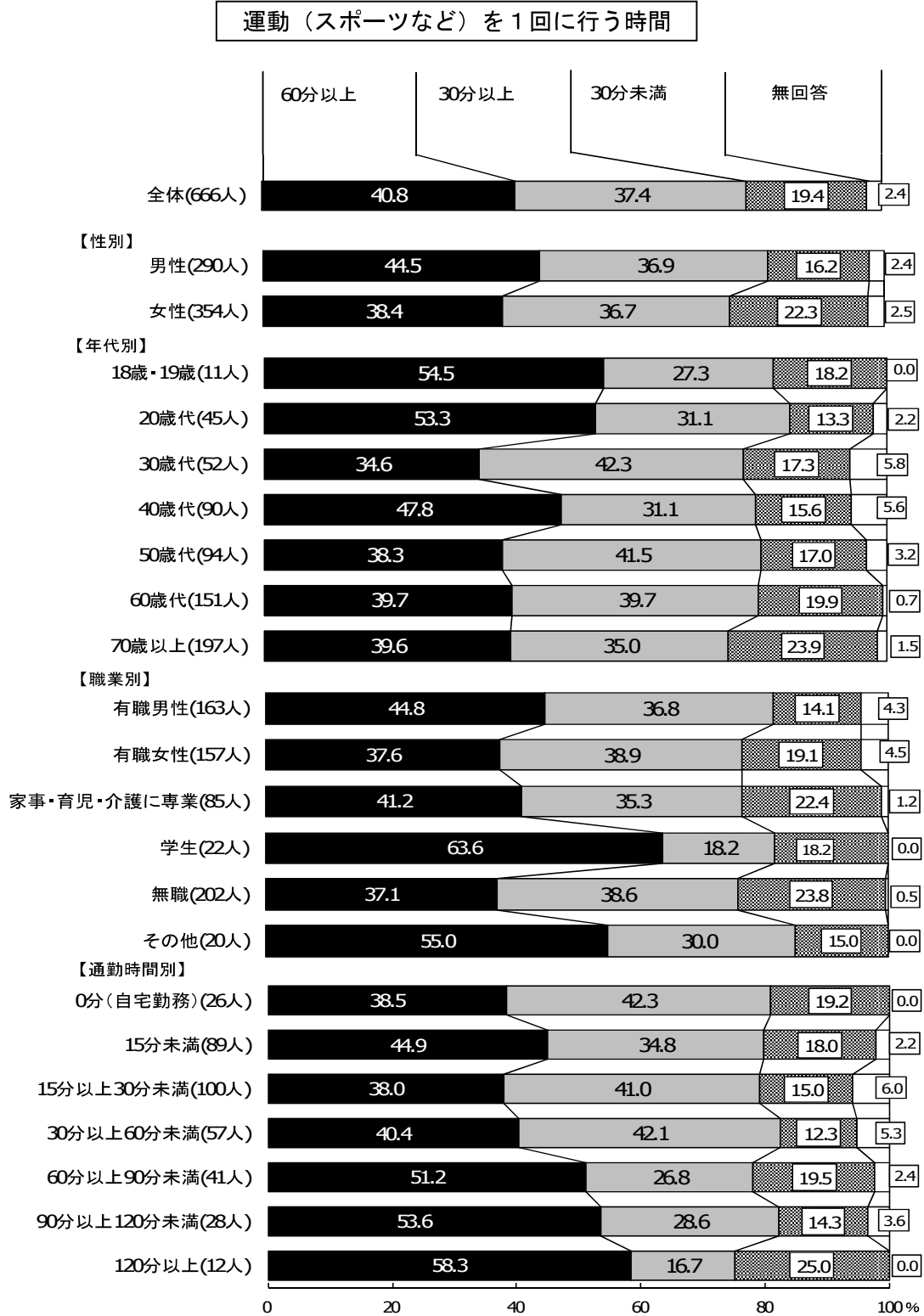
職業別でみると“習慣的に運動を行っている”は学生が64.3%、家事・育児・介護に専業が61.2%と高くなっています。最も低い有職女性でも、48.7%と過半数に近づいています。

通勤時間別でみると“習慣的に運動を行っている”は60分以上90分未満が59.4%と最も高く、120分以上の長距離通勤層も54.2%と5割を上回っています。通勤時間0分（自宅勤務）が43.3%と最も低くなっていますが、4割を超えていることから、全体として“習慣的に運動を行っている”ということがうかがえます。

5-5 運動（スポーツなど）を1回に行う時間

◆「60分以上」40.8%◆

（問19で「ほぼ毎日」「週に2~3回」「週に1回」とお答えの方におたずねします）
 問19-1 1回にどのくらいの時間行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「60分以上」が40.8%と最も多く、「30分以上」が37.4%、「30分未満」が19.4%の順となっています。

性別で見ると、男性・女性とも「60分以上」が最も多く、男性(44.5%)が女性(38.4%)を6.1ポイント上回っています。

年代別で見ると「60分以上」は18歳・19歳で54.5%と最も高く、次いで20歳代で53.3%となっています。「30分以上」は30歳代が42.3%と最も高くなっています。「30分未満」は70歳以上が23.9%と最も高くなっています。

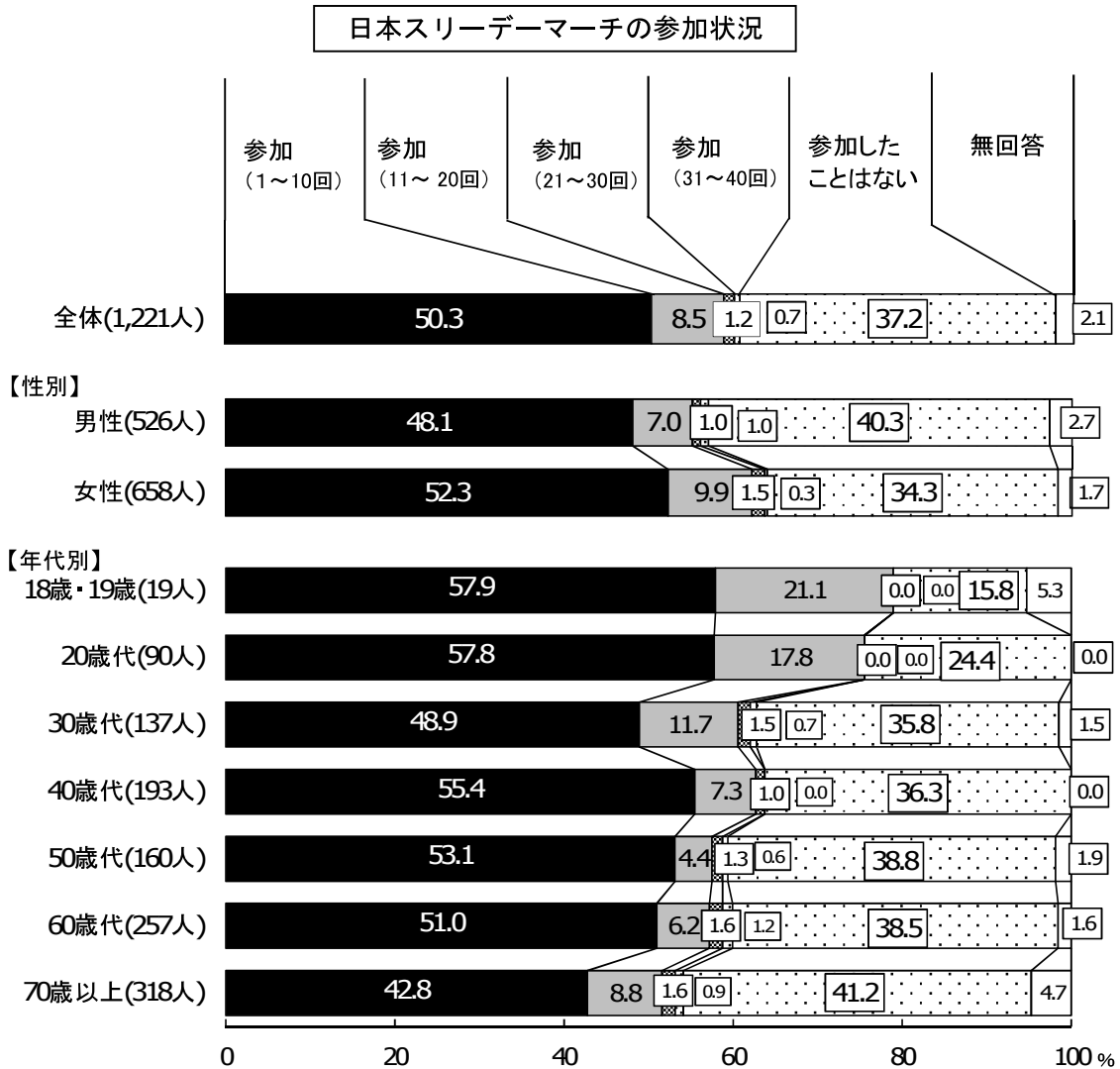
職業別で見ると「60分以上」は学生で63.6%と最も高くなっています。「30分未満」は無職で23.8%と最も高くなっています。

通勤時間別で見ると「60分以上」は通勤時間120分以上で58.3%と最も高くなっています。「30分未満」でも通勤時間120分以上が25.0%と高くなっています。

5-6 日本スリーデーマーチの参加状況

◆ “参加したことがある（1～10回）” 50.3%、“参加したことはない” 37.2%◆

問 20 あなたは、日本スリーデーマーチに参加したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



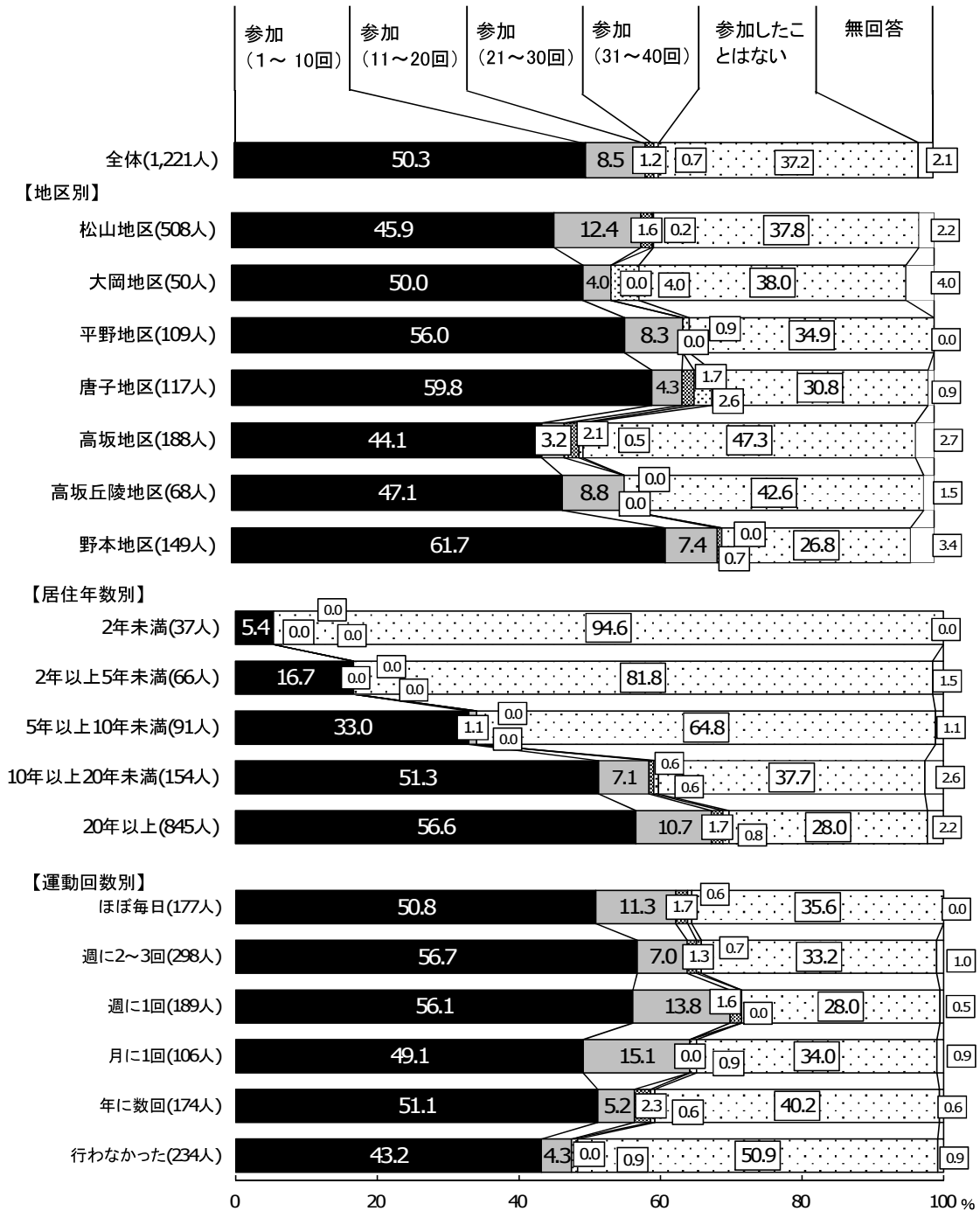
※「日本スリーデーマーチの参加状況」は新設の設問です。

全体では「参加したことがある（1～10回）」が50.3%と最も高く、「参加したことはない」が37.2%、「参加したことがある（11～20回）」が8.5%の順となっています。

性別で見ると、女性の「参加したことがある（1～10回）」が最も高く、女性（52.3%）が男性（48.1%）を4.2ポイント上回っています。

年代別で見ると「参加したことがある（1～10回）」が全ての年代で高く、18歳・19歳で57.9%と最も高く、次いで20歳代で57.8%となっています。一方、「参加したことはない」は年齢が高くなるほど高くなる傾向となっており、70歳以上では41.2%と最も高くなっています。

日本スリーデーマーチの参加状況（地区・居住年数・運動回数別）



※「日本スリーデーマーチの参加状況」は新設の設問です。

地区別では「参加したことがある（1～10回）」は野本地区61.7%と最も高く、次いで唐子地区が59.8%、平野地区56.0%の順となっています。一方「参加したことはない」は高坂地区が最も高く47.3%となっています。

居住年数でみると、年数が長くなるほど“参加したことがある(1～40回)”が増えています。「20年以上」では69.8%の市民に参加経験があることがわかります。

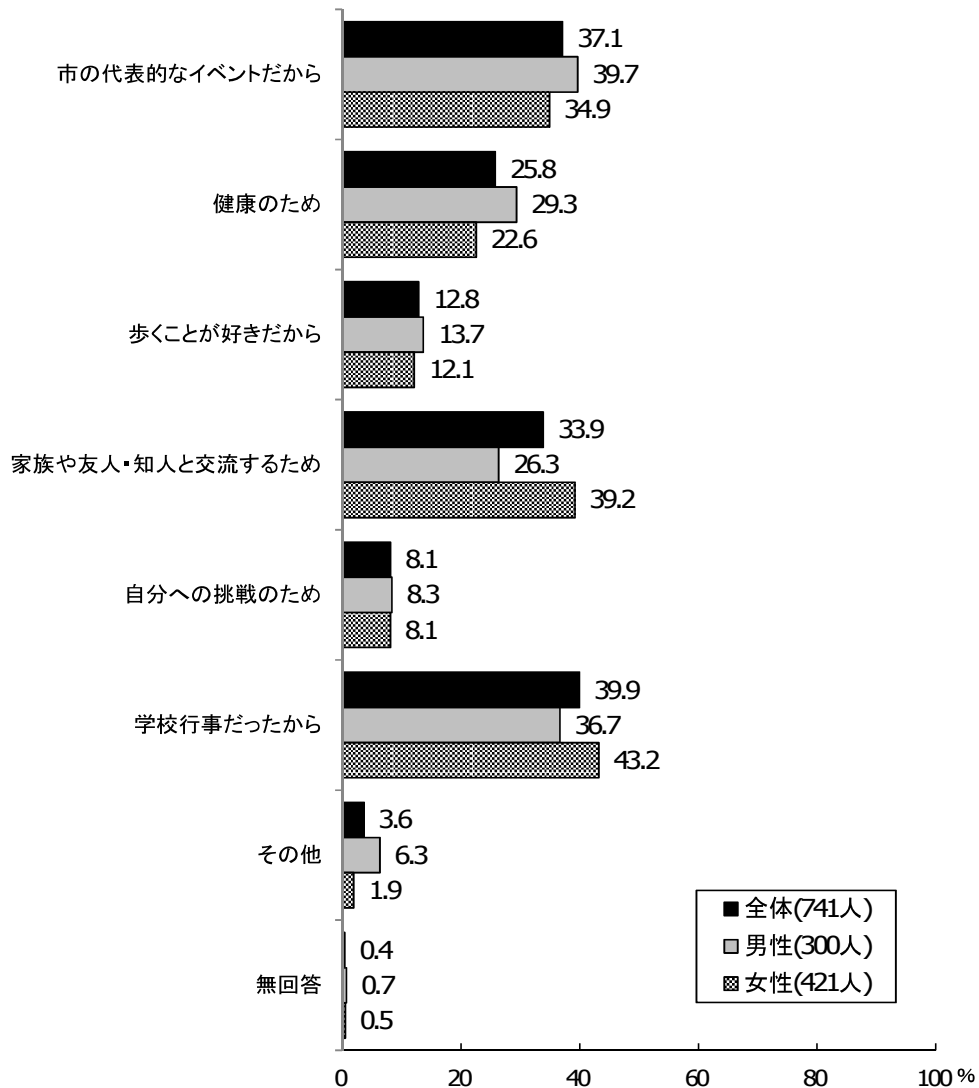
運動回数別でみると“参加したことがある（1～40回）”は、週に1回が最も高く71.5%、次いで週に2～3回が65.7%となっています。一方、「参加したことはない」は「行わなかった」で最も高く5割を超えています。

5-7 日本スリーデーマーチに参加した理由

◆「学校行事だったから」39.9%、「市の代表的なイベントだから」37.1%◆

問 20-1 日本スリーデーマーチに参加した理由はなんですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

日本スリーデーマーチに参加した理由（全体・性別）

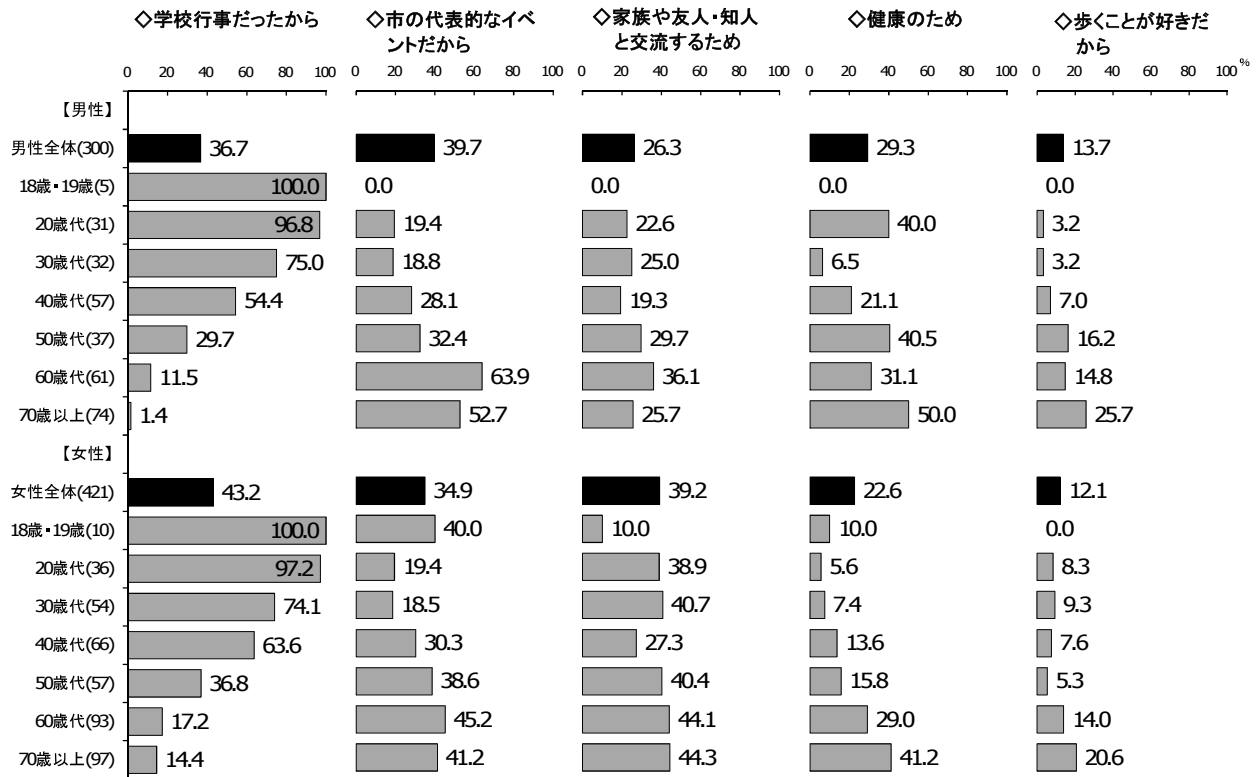


※「日本スリーデーマーチに参加した理由」は新設の設問です。

全体では「学校行事だったから」が39.9%で最も高く、次いで「市の代表的なイベントだから」(37.1%)、「家族や友人・知人と交流するため」(33.9%)、「健康のため」(25.8%)、「歩くことが好きだから」(12.8%)が続いています。

性別で見ると「家族や友人・知人と交流するため」で女性(39.2%)が男性(26.3%)を12.9ポイント、「健康のため」で男性(29.3%)が女性(22.6%)を6.7ポイント上回っています。

日本スリーデーマーチに参加した理由(上位5項目 性・年代別)



※「日本スリーデーマーチに参加した理由」は新設の設問です。

性・年代別でみると「学校行事だったから」は、18歳・19歳(男性100.0%、女性100.0%)、20歳代(男性96.8%、女性97.2%)でおおむね10割となっています。

「市の代表的なイベントだから」は男性の60歳代で6割を上回っています。

「家族や友人・知人と交流するため」は、女性の30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上で4割台と高くなっています。一方、男性では最も高い60歳代で36.1%となっています。

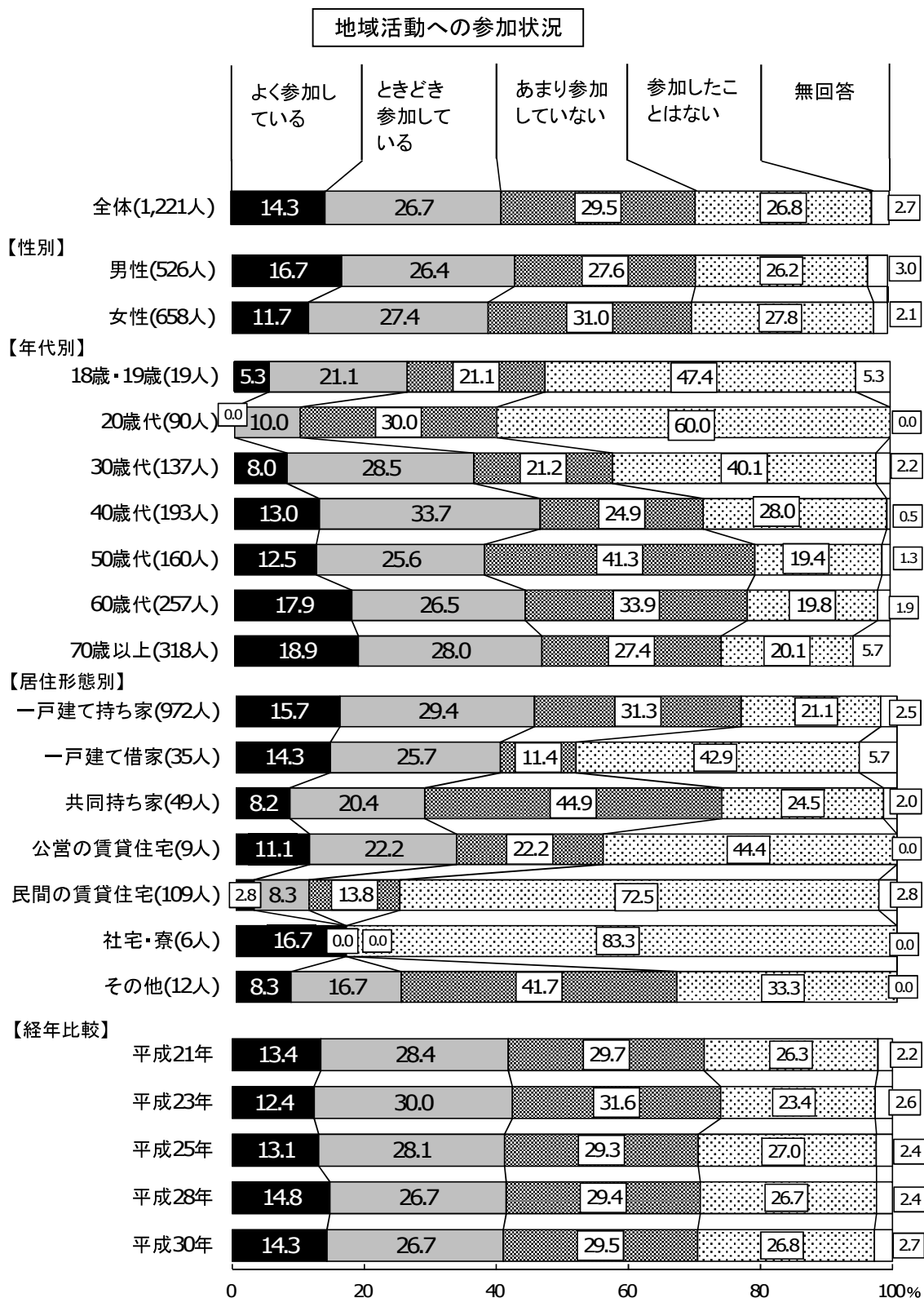
「健康のため」は、男性の70歳以上で50.0%と高く、20歳代、50歳代でも4割台となっています。一方、女性では70歳以上で41.2%と最も高く、60歳代で29.0%、他の年代では1割台以下と低くなっています。

「歩くことが好きだから」は、年齢が高くなるほど高くなる傾向にあることがわかります。

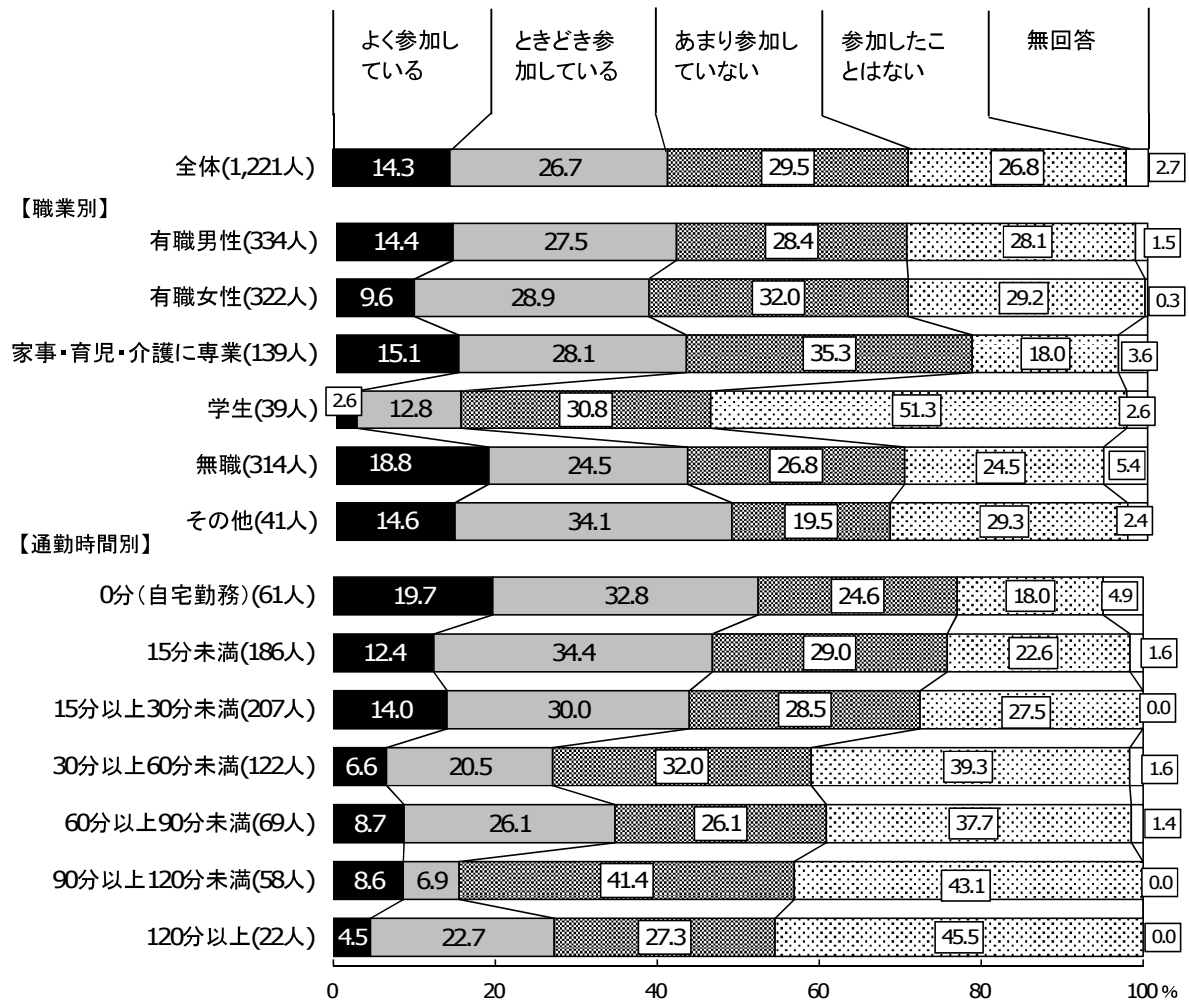
5-8 地域活動への参加状況

◆ “地域活動に参加している” 41.0% ◆

問 21 あなたは、現在、自治会活動や地域の行事などに参加していますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



地域活動への参加状況



全体では「よく参加している」は14.3%、「ときどき参加している」は26.7%で、両方を合わせた41.0%が“地域活動に参加している”と回答しています。

性別でみると“地域活動に参加している”は男性(43.1%)が女性(39.1%)を4.0ポイント上回っています。

年代別でみると“地域活動に参加している”は60歳代以降の年代で4割以上ですが、20歳代では10.0%と特に低くなっています。

居住形態別でみると“地域活動に参加している”は一戸建て持ち家で45.1%、一戸建て借家で40.0%と高くなっていますが、民間の賃貸住宅では11.1%と低くなっています。

職業別でみると“地域活動に参加している”はその他で48.7%、家事・育児・介護に専業で43.2%と高くなっていますが、学生は15.4%と特に低くなっています。

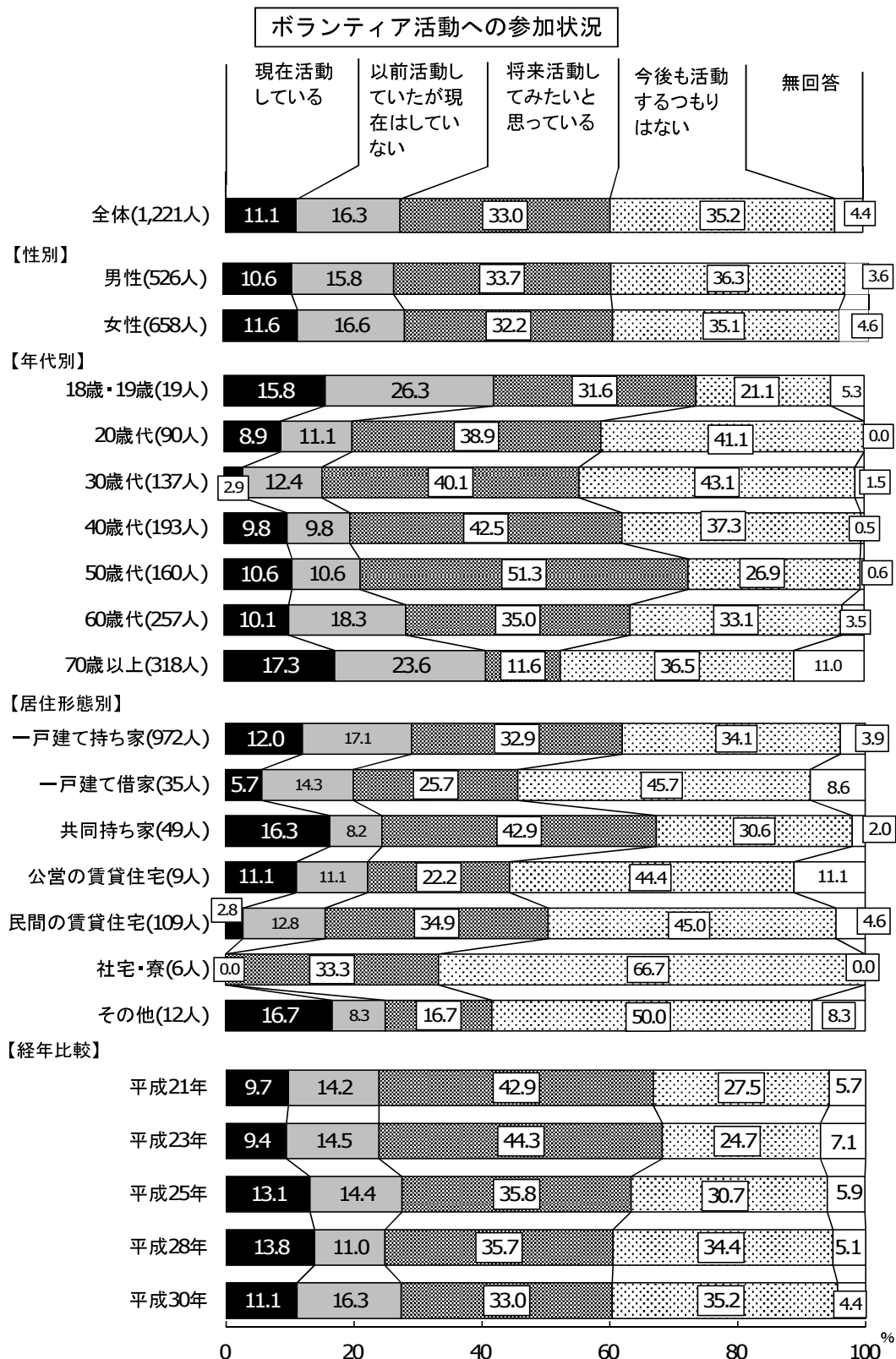
通勤時間別でみると“地域活動に参加している”は0分(自宅勤務)で52.5%と最も高く、次いで15分未満で46.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると“地域活動に参加している”はほとんど変化はありません。

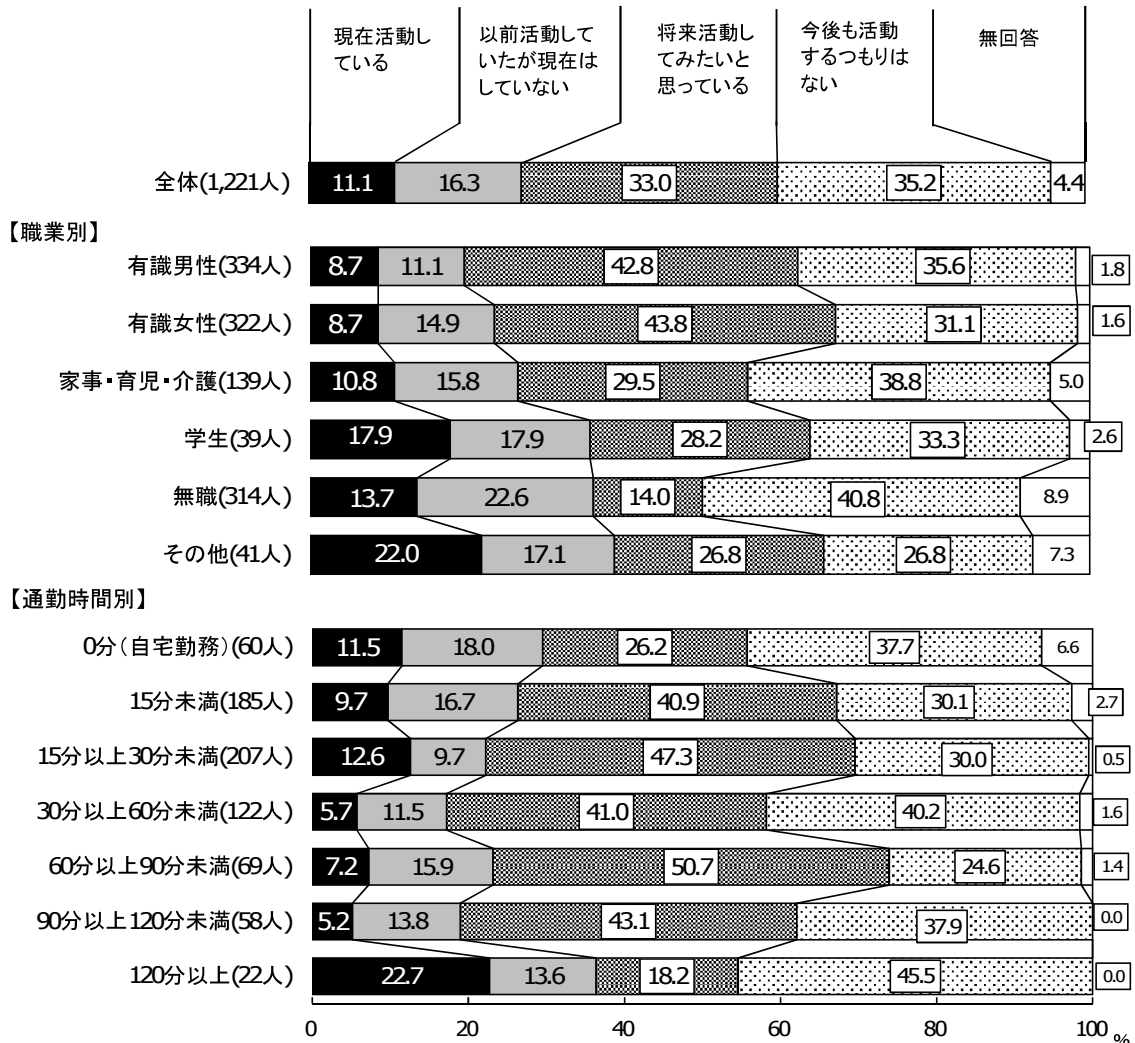
5-9 ボランティア活動への参加状況

◆ “活動経験がある” 27.4% ◆

問 22 あなたは、団体、サークルまたは個人などでボランティア（社会貢献）活動をしていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



ボランティア活動への参加状況



全体では「現在活動している」は 11.1%、「以前活動していたが現在はしていない」は 16.3%で、両方を合わせた 27.4%が“活動経験がある”と回答しています。

性別でみると“活動経験がある”は男性 (26.4%) と女性 (28.2%) で女性が 1.8 ポイント上回っています。

年代別でみると“活動経験がある”は 18 歳・19 歳で 42.1%と最も高く、次いで 70 歳以上で 40.9%、60 歳代が 28.4%と続いています。

居住形態別でみると“活動経験がある”は一戸建て持ち家 (29.1%)、その他 (25.0%)、共同持ち家 (24.5%) で比較的高くなっています。

職業別でみると“活動経験がある”はその他で 39.1%と最も高く、次いで無職が 36.3%となっています。その他には、団体職員関係や医療経験者が含まれるため、他より高めであることが推察できます。

通勤時間別でみると“活動経験がある”は 120 分以上で 36.3%と最も高く、次いで 0 分 (自宅勤務) が 29.5%となっています。120 分以上は「現在活動している」でも 22.7%と最も高くなっています。

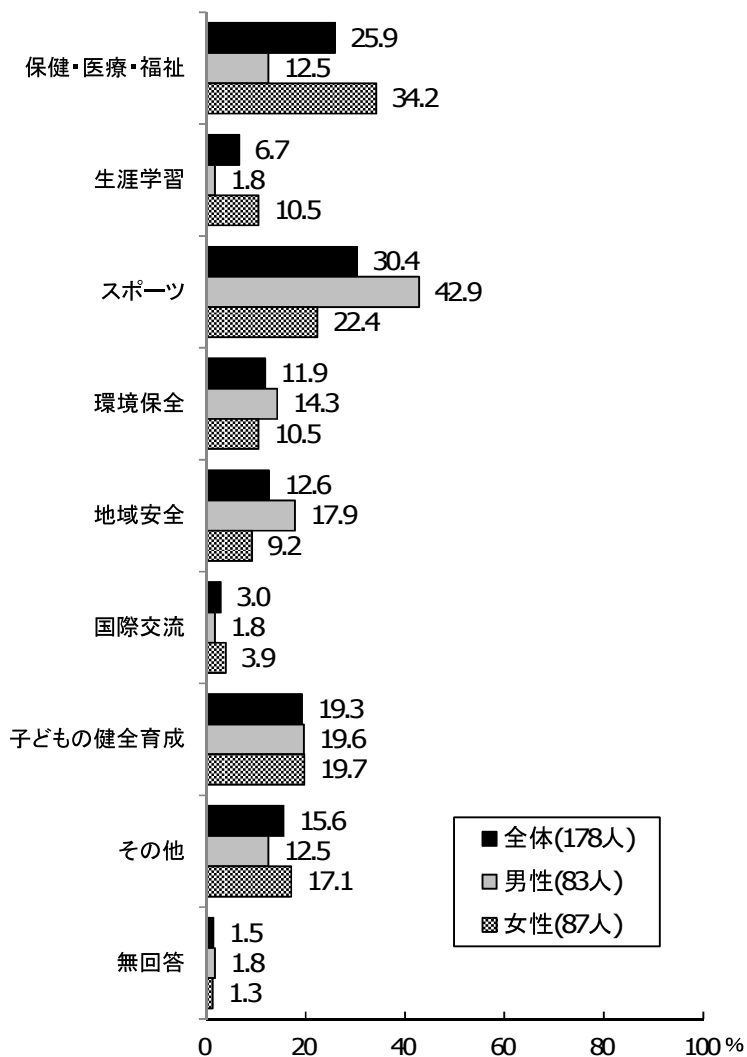
平成 28 年度調査と比較すると“活動経験がある”は 2.6 ポイント増加しています。

5-10 活動している分野

◆「スポーツ」30.4%、「保健・医療・福祉」25.9%◆

(問 22 で「現在活動している」とお答えの方におたずねします)
 問 22-1 活動しているのはどの分野ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○
 で囲んでください。

活動している分野（全体・性別）



全体では「スポーツ」が30.4%で最も高く、次いで「保健・医療・福祉」(25.9%)、「子どもの健全育成」(19.3%)、「その他」(15.6%)、「地域安全」(12.6%)が続いています。「その他」には、音楽・合唱関係や慰問活動、災害ボランティアなどが含まれています。

性別で見ると「保健・医療・福祉」で女性(34.2%)が男性(12.5%)を21.7ポイント上回っていますが、「スポーツ」では男性(42.9%)が女性(22.4%)を20.5ポイント上回っています。